

1. 事業期間

2020年6月1日～2021年5月31日

2. 基本方針

当法人は、**地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。**

そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した**次世代育成事業「Appleseed 奨学金」**（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給））では、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的として事業を行います。

《設立から3ヵ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

○2017年度重点取り組み【仕組みの充実と拡充】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充
- ② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携
- ③ 助成事業の充実

○2018年度重点取り組み【ネットワーク連携強化】

- ① 連携強化による新たな資源の確保
- ② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実
- ③ ネットワーク連携による助成事業の充実

○2019年度事業の取り組み【基金創設と必要な資源の確保】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保  
（1592チャレンジ・Appleseed 奨学金）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 組織運営・事務局体制の強化・充実

**【2020年の運営方針について】**

・地域における社会課題を把握し、必要な資源確保、ニーズに対応し現場に寄り添った助成事業を行ってまいります。また、関係団体・機関等と連携して行うことで地域の課題解決に向けて連携サポート体制

《2020年度を振り返って》

### ●コロナ感染拡大への対応（感染対策・オンライン対応）

2020年2月から全国に急速に拡大した新型コロナウイルス感染拡大によって、勤務体制をリモートに切り替え、開催に当たっては、感染状況を見ながら、中止、オンライン、ハイブリット方式に切り替えての開催となりました。

### ●コロナ感染支援活動（現場のニーズに応じた支援活動）

2月から急速に広まった新型コロナウイルス感染拡大対策として①ひとり親家庭②「子ども食堂（困窮家庭）」「子ども世帯」「医療従事者支援」をこれまで財団で助成・支援してきた団体と連携しながら支援活動を行いました。（総額 63万 延べ 1100人、2団体支援）

### ●熊本豪雨災害 BRIDGEKUMAMOTO 基金の創設・運営

7月4日から熊本・九州各地に大きな被害をもたらした熊本豪雨災害（九州北部豪雨災害）では熊本地震の経験からいち早く基金（BRIDGEKUMAMOTO 基金）を立ち上げ、一般社団法人 BRIDGEKUMAMOTO と共同で運営。コロナ感染で県外からの支援活動が制限される中、8月～12月の間に 43 団体 1250 万の活動助成を行うことができました。（合計 21,099,276 円 全国海外から 3500 名を超える支援）

### ●休眠預金活用「熊本県新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成事業」採択

公益財団法人熊本 YMCA との連携事業により、新型コロナウイルス感染で影響を大きく受けている「ひとり親家庭」「子ども」「若者」「障がい者」への支援、支援団体への伴走支援事業が採択され、活動（事業総額 6109万 7 実行団体採択 伴走支援実施継続中）

### ●おもやいアワード 2020「子どもたちへ明るい未来を贈ろう！」トークセッション

コモンズ投信 代表取締役会長 渋澤健氏  
肥後銀行 代表取締役頭取 笠原 慶久氏

#### 《成果》

熊本地震・復興支援活動の経験を活かし、「コロナ感染拡大・熊本豪雨災害という 未曾有の災害やクライシス」に対して「基金の創設・活動助成」、「現場のニーズに対応した支援」、これまで助成してきた活動団体や多様な組織と連携して対応ができたことは、地道に活動してきた成果が表れた結果であると思います。

・休眠預金活用事業では、熊本県初採択、熊本 YMCA との連携しながら、これまでの経験を活かして事業連携を行い、合わせて運営スタッフの確保・人材育成・事務局の充実を図っていくよい機会となっています。

## 3. 事業

### （公益活動推進事業）

- (1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

◆事業名：チャレンジ1592（ひごくに）寄付募集

【事業概要】熊本地震から3年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動をサポートしていくために、活動に賛同いただける方を募り、**熊本元気応援「チャレンジ1592寄付」**として登録・ご寄付をお願いしていきます。

【内容】コロナ感染による影響を受けている「ひとり親家庭」「子ども世帯」「医療従事者」への支援  
熊本豪雨債が支援として子ども世帯支援

【寄付額】リコージャパン株式会社より「30万」のご寄付  
浜松市永田様より手作りマスク

3 想いをつなぐ：現場のニーズや課題の沿った迅速な支援  
他団体との連携 (63万円)

① 新型コロナウイルス感染  
子育て家庭応援プロジェクト  
2月「アードロス」×「子ども食堂」100世帯 (1万円)  
3月「オルビス社」×「子育てママ」220人分  
4月「フェアトレードチョコ」×「ひとり親家庭」  
100世帯 (5万円)  
7月アロマストーン (障害者作業所) ×子育てママ100人 (6万円)

② 医療従事者応援プロジェクト  
6月「飲食店」×「医療従事者」20日間100食 (5万円)  
7月「障害者作業所」×「医療従事者」450食 (6万円)

③ 熊本豪雨災害子ども・ママ応援プロジェクト  
12月「子育てママ」×リコージャパン株式会社 (3月まで) 30万円

④ 支援活動団体サポート  
9月「次世代のためにがんばる会」(5万円)  
10月「くまもと転入ママの会」(5万円)



出水中の生徒さんより医療従事者の皆さん向けメッセージ&ポスターを預かる

(病院に依頼)

● 託麻台リハビリテーション

(3月8日～4月10日)

● 熊本機能病院 (3月22日～5月10日)

● 菊南病院 (4月13日～6月4日)

● 熊本市民病院 (5月10日～6月15日)

## ●事業名：おもやいアワード2020

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催。

【内容】

### 第1部 活動報告

- ・「オルビスくまもと未来基金」2020年活動報告3団体 (オルビス社からのコメント)
- ・熊本豪雨災害支援「BRIDGEKUMAMOTO基金」報告 (一般社団法人BRIDGEKUMAMOTOとの共同事業)
- ・新型コロナウイルス対応感染緊急支援助成事業 (公益財団法人熊本YMCAとの共同事業)
- ・その他新型コロナウイルス感染子育て家庭・医療従事者応援プロジェクト・  
熊本豪雨災害子ども・ママ応援プロジェクト
- ・「Appleseed奨学金」(公益社団法人日本国際生活体験協会の協力)  
第1期奨学生インタビュー

### 第2部 トークセッション「子どもたちへ明るい未来を贈ろう！」

モデレーター 石原専務理事  
コモンズ投信 代表取締役会長 洪澤健氏  
肥後銀行 代表取締役頭取 笠原 慶久氏



【実施日時】2020年12月19日（土）14：00～17：00

【実施場所】オンライン開催に変更

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加者】22名

【参加費】無料

【収入】0円 【支出】0円（オンライン開催のため）

（渋澤氏・笠原氏ともに無料で引き受けてくださる）

報告書・録画記録（HP/FB）



## (2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

◆事業名：熊本豪雨災害BRIDGEKUMAMOTO基金

（一般社団法人BRIDGEKUMAMOTOとの共同運営）

【概要】7月4日災害発生・基金設立（熊本豪雨災害支援活動を行っている団体を助成）

【実施期間】2020年7月5日～70日間

- 災害発生7月4日夜準備7月5日から募集開始
- 合計 **21,099,276円**（募金サイト14,465,068円口座振り込み6,634,208円）
- 全国海外から3500名を超える支援



### 第1期（7/9-12募集）7月末助成

BRIDGE KUMAMOTO® 基金  
みんなの想い**730万円**を  
**22**の団体へ託します。

採決決定

第1期

1. 2020年熊本豪雨災害支援委員会（財）
2. 一般社団法人いっしょに被災地を元気づけよう
3. ネットワーク熊本
4. 一般社団法人熊本支那センター
5. Team BRIDGE
6. 熊本県立大学災害支援センター
7. 熊本県立大学災害支援センター
8. 熊本県立大学災害支援センター
9. 熊本県立大学災害支援センター
10. 熊本県立大学災害支援センター
11. 熊本県立大学災害支援センター
12. 熊本県立大学災害支援センター
13. 熊本県立大学災害支援センター
14. 熊本県立大学災害支援センター
15. 熊本県立大学災害支援センター
16. 熊本県立大学災害支援センター
17. 熊本県立大学災害支援センター
18. 熊本県立大学災害支援センター
19. 熊本県立大学災害支援センター
20. 熊本県立大学災害支援センター
21. 熊本県立大学災害支援センター
22. 熊本県立大学災害支援センター

### 第2期（8/12-20募集）8月末助成

BRIDGEKUMAMOTO®基金  
第2期採決決定**575万円**を  
**20**の団体へ託します。

採決決定

第2期

1. 熊本の被災プロジェクト
2. 熊本支援ネットワーク
3. gramoccoクラウドソーシング
4. 熊本支援チーム
5. 熊本-DMB熊本
6. 熊本県立大学災害支援センター
7. Team Chikyū
8. NPO法人アール・レイジー・コンパニー
9. ドラゴン・レイ
10. team emergency
11. 熊本県立大学災害支援センター
12. 熊本県立大学災害支援センター
13. 熊本県立大学災害支援センター
14. make happy
15. 熊本県立大学災害支援センター
16. NPO法人スロー・アット・ワーク
17. 熊本県立大学災害支援センター
18. NPO法人F&A
19. 熊本県立大学災害支援センター
20. 熊本県立大学災害支援センター

### ③副業プロジェクト実施時期8～10月 (初期費用200万として助成)

・コロナ感染拡大による人手不足の解消  
・支援が届きにくい災害復旧活動を支援  
・水害や新型コロナウイルス感染症の影響によって仕事ができない方々の、生活再建の足掛かりとして、副業として復旧作業に携わっていただくため  
(1人5,000円)



■活動対象人数 球磨地域 434名  
熊本地域 1084名

■活動内容  
定休日、資料費の負担、再貸はず、貸はず、貸はず、貸はず



### 緊急暖房器具応援 (200万) 11月～12月



暖房器具：3,300台等

- ・地域で活動している団体に協力を依頼
- ・被災者の声を聴く！
- ・坂本町・人吉36世帯
- ・人吉・球磨地域 (120世帯)



### ④活動報告会12/12



【出された課題】  
①現在のニーズと思いに資金が追いつかない  
②マンパワー（情報発信・助成金申請したいが余裕がないなど）不足  
③ネットワーク・連携の必要性（復旧現場活動がバラバラ）  
④コロナ感染による活動の制限  
熊本県内からまだ半年、コロナ感染の影響もあり、熊本地域の状況のように、新型コロナウイルスへの資金援助や学びの場が圧倒的に少ないのが現状  
広範囲な水害被害の状況からすると、まだまだ継続した支援が必要！

### 復興未来支援

40万円の活動費を支援します！

募集要項

募集期間	2020年12月1日～2021年1月31日
募集対象	熊本県内在住の個人・法人・団体
活動内容	被災者支援、地域活性化、社会貢献など
活動費	40万円（活動費として）
活動期間	2021年1月～2021年3月
活動場所	熊本県内
活動人数	10人以上
活動内容	被災者支援、地域活性化、社会貢献など
活動費	40万円（活動費として）
活動期間	2021年1月～2021年3月
活動場所	熊本県内
活動人数	10人以上

募集要項	募集期間	2020年12月1日～2021年1月31日
募集対象	募集対象	熊本県内在住の個人・法人・団体
活動内容	活動内容	被災者支援、地域活性化、社会貢献など
活動費	活動費	40万円（活動費として）
活動期間	活動期間	2021年1月～2021年3月
活動場所	活動場所	熊本県内
活動人数	活動人数	10人以上
活動内容	活動内容	被災者支援、地域活性化、社会貢献など
活動費	活動費	40万円（活動費として）
活動期間	活動期間	2021年1月～2021年3月
活動場所	活動場所	熊本県内
活動人数	活動人数	10人以上

### 第3次募集採択団体の活動計画発表 & 交流会 (2月11日)



◆2月11日(木) BRIDGEKUMAMOTO  
基金第3次募集採択団体の活動計画  
発表&交流会を開催

- 団体には事前にヒアリングを行い、プレゼン用発表資料を作成し発表
- 3人方からのアドバイスは、とても的確で示唆に富んだもので、具体的なアドバイスをいただく。  
(アドバイザーの方々)
- ◆一般社団法人RCF 代表理事 藤沢 烈 氏
- ◆公益財団法人みんなで作る財団おかやま理事 石田萬史 氏
- ◆公益財団法人佐賀未来創造基金 代表理事 山田 健一郎氏

### 第3期活動助成・団体サポート採択団体 (各40万円助成)

- ①チームやまびこ：活動地域：芦北町  
(<https://www.facebook.com/pasen0001>)  
コロナ禍の中心ドライブセンター活動を中心とした芦北コミュニティづくりの場づくり
- ②やっちゃん保健室協議委員会：活動地域：八代・坂本  
(<https://www.facebook.com/osekkaichan>)  
やっちゃん保健室-開ったときはお互い様！「坂本町・八代での高齢者の心と健康のケアを行う活動」
- ③多良木キッズサークル 活動地域：人吉  
(<https://www.facebook.com/fuyuumiyu>)  
人吉ですすまいるサロン活動「心のケア・おそび・物資支援を通じた乳幼児やママの支援活動」
- ④リポーン 活動地域：坂本  
(<https://www.facebook.com/rebornkumagawa>)  
理事兼常務地域再生事業「被災で廃材となった資材を活用したコミュニティ拠点づくり・組織運営体制の整備」

### ●第3期活動助成・伴走支援団体サポート (40万)

活動計画発表会 (アドバイザー謝金 3万×3人=9人)

4月～9月団体運営基礎講座 (講師謝金31万円)

### ◆休眠預金活用「熊本県新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成事業」

概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成・伴走支援

【実施期間】2020年10月～2021年10月

【対象】実行団体 7団体

- ・子どもの第3の場でいぐる運営委員会(コンソーシアム:社会福祉法人玉医会・でいぐる友の会)
- 事業名「子どもの第3の場でいぐるwithコロナ」 (玉名地域)

- ・熊本子ども見守りネットワーク （  
（コンソーシアム熊本県ひとり親家庭福祉協議会・一般社団法人熊本県こども食堂ネットワーク）  
事業名「熊本子ども見守りネットワークプロジェクト」（県内）（助成総額9,180,000円）
- ・子どもの第3の居場所でいんぐる運営委員会  
事業名「子どもの第3の居場所でいんぐるwithコロナ」（玉名地域）（助成総額9,047,925円）
- ・認定NPO法人NEXTEP  
事業名「荒廃耕作地の活用を通して若者の就労支援」（県内）助成総額6,834,000円）
- ・株式会社きらり.コーポレーション  
事業名「オンラインワーカー育成プロジェクト」（八代地域）（助成総額5,639,000円）
- ・NPO法人ワークショップひなたぼっこ  
事業名「オンランを活用した福祉事業活性化」（天草地域）（助成総額5,000,000円）
- ・NPO法人シンフォニ ことばの海 はぐくみの森  
事業名「オンライン体制でリモート就労を」（県内）（助成額5,098,600円）
- ・一般社団法人BRIDGEKUMAMOTO（コンソーシアム：合同会社といろ・株式会社調べ考房）  
事業名「障害+サステナブルプロダクトの開発・販売」（県内）（助成額9,200,000円）



1. 公募期間

8月17日（月）～8月31日（月）※17時まで

2. 審査会議による第1次審査 審査委員会での決定 9月3日（木）

3. 書類審査通過団体向けブラッシュアップ研修会 9月12日（土）

場所：熊本YMCA中央センター

4. 最終審査会にて選定最終決定 9月19日（土）

場所：熊本YMCA中央センター

5. 実行団体決定の公表

選定された実行団体の名称、事業名、事業概要を公表 9月28日 目途

6. 助成金支払い

資金提供契約書の締結（実行団体と資金分配団体）10月下旬



- 事前説明会・個別相談会  
(8月20日～26日) 5回実施  
参加団体 37団体
- 申請団体 (17団体)  
(8月31日まで)
- 第1次書類審査 (9月3日)
- ブラッシュアップ研修  
(9月12日 (土))
- 最終審査会  
(9月19日 (土))
- 年4回の集合研修
- 毎月のフォローアップ・  
伴走支援  
7団体



研修会の様子

集合研修：10月・1月・4月集合研修開催（7月）

毎月：マンスリーレポート提出（10日）POミーティング（中旬）フォローアップ面談（下旬実施）

最終報告会：9月末ごろ実施予定

### (3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

#### ◆オルビスくまもと未来基金伴走型団体基盤強化事業（2017年より実施4年目）

【目的】熊本地震復興支援から始まった支援活動・地域の課題解決活動がさらに継続的に活動していくために、年間を通したコンサルティングを通して、継続的運営を行うための組織力・”資源”調達力を養い、自立・発展した運営ができる団体を養成する

対象：これまで支援サポートしてきた団体を中心に、さらにステップアップ・成長を希望する団体を審査の上選定

【期間】2020年1月～2020年12月

【支援内容】

- ① 団体の課題整理・課題に応じた支援計画
- ② 集中研修
- ③ 個別コンサルティング
- ④ 成果報告

【実施体制】

・事業運営資金：株式会社オルビス

・事業運営

伴走型コンサルティング：一般財団法人ジャパングビング

事業全般：一般財団法人くまもと未来創造基金

### 【支援団体】

①嘉島町だんだん食堂-ハンズハンズ②子育てネットワーク『縁側moyai』③HAPPY PARK

コロナ感染のため、勉強会は中止

随時個別相談・サポートを行う

#### ●勉強会開催

10月13日・28日、11月6日・13日・20日個別面談

11月9日「ロジックモデル」研修を行いました。

参加者9名



#### ●12月19日おもやいアワードで活動発表

### ◆基盤強化セミナー（コロナ感染状況を見て開催方法など判断）

#### ①助成金の活用セミナー（企画書作成）

日時：7月24日（金）

会場：熊本市市民活動支援センターあいぽーと

オンライン開催



#### ②団体基盤強化ステップアップセミナー（3回開催）—8・9・10月

（「熊本市市民活動センター あいぽーと」との連携事業）

ハイブリッド形式（オンライン&リアル）

1回目：8/22(土) 10:00~12:00

組織運営・体制づくり・ボランティア

13:30~15:00 活動団体報告会

2回目：9/26(土)13:30~15:30

広報・パンフレット・会報誌・HP

3回目 10/24(土)13:30~15:30

会員・寄付集め 資源調達



### ③活動に参加や協力者を増やそう！「会員募集や寄付募集の準備をしよう」

(天草市民活動支援センターあまみんにて開催)

天草市市民活動支援センターとの協働事業は3年目

【日時】2020年8月6日(木) 13:30~15:00

【内容】基本的考え方や準備、具体的導入の仕方について

【場所】天草市複合施設ここらす

【参加者】20人



### ④助成金セミナーin 熊本 2020

【目的】

- ・団体が抱える課題の一つ「資金」について、助成金活用を希望する団体は多いが、自団体の計画に合わせて有効に活用している団体は少ない。
- ・助成制度について助成担当者による説明や助成金のしくみ・助成団体が助成金を出す目的などを聞くことにより、助成金への理解を深め、自団体に合った助成金申請へとつなげる。
- ・助成担当者の説明に加えて、熊本で実際に活動している団体の報告を聞くことで、より多くの団体が上手に助成金を活用し活動を発展させていく。
- ・開催に当たっては、事前に共催で開催する「助成金活用・企画書作成勉強会」と連携させる。

【日時】2020年9月11日(金) 13:30~17:00

【会場】熊本市市民活動支援サポートセンター あいぽーと

【実施体制】主催：一般財団法人くまもと未来創造基金 (企画・当日運営実施主体)

共催：熊本市市民活動支援センターあいぽーと (会場・広報・集客)

【協力助成団体・機関】

- ①くまもとわくわく基金 様 15分(熊本市)
- ②九州 ろうきん 様 (九州)
- ③熊本市こどもの未来応援基金 様 (熊本市)
- ④独立行政法人福祉医療機構(WAM) 様 (全国) WAN 助成・子ども未来応援基金

【参加者】31人



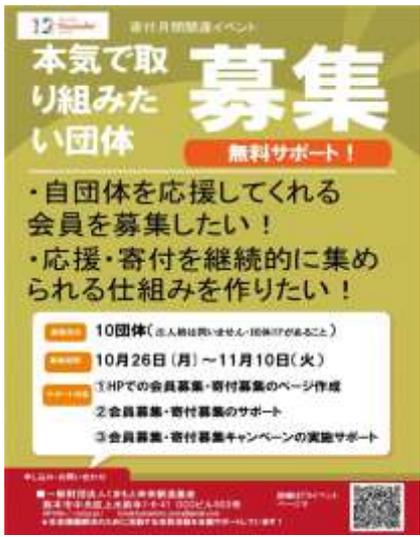
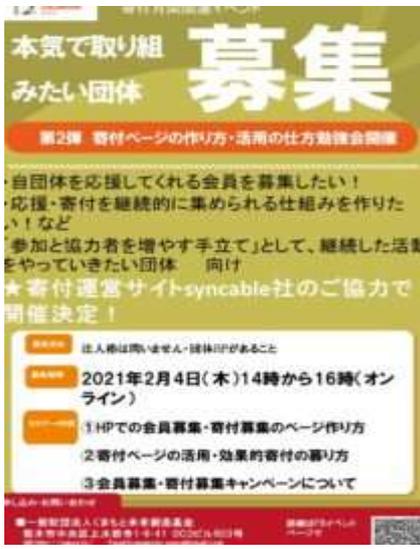
## ◆事業：ファンドレイジング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「チャレンジ 1592」賛同者を集める (③資金調達の専門知識を持った熊本のファンドレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。  
2019年度：勉強会参加者人数延べ50人・交流会サロン参加人数60人

### ★コロナ感染拡大のためオンラインを中心とした開催を行う。

#### ①ファンドレイジング勉強会

時期	会場	時間等	内容	備考
10月 ～ 11月	オンライ ン		会員集めや寄付集めの仕組導入の支援 《導入相談実績》 ①NPO 法人インドに幼稚園を作る会 ②NPO 法人トナリビト ③HAPPYPARK プロジェクト ④熊本転入ママの会 ⑤NPO 法人傾聴ネットキーステーション ⑥NPO 法人熊本県子ども食堂ネットワーク	
2月 14日	オンライ ン	13:30 ～ 16:00	寄付の勉強会 内容： ①HPでの会員募集・寄付募集のページ作り方 ②寄付ページの活用・効果的寄付の募り方 ③会員募集・寄付募集キャンペーンについて ◆参加団体 18 団体	

#### (4) 次世代育成事業

##### ◆「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金

本事業を実施するに当たり、本財団内に特別基金として、「Appleseed 奨学金」を創設。高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的とする。

(2019 年特に本件と 35 年の良好な姉妹交流を続ける**米国モンタナ州政府駐日本代表事務所**のご協力のもと、**公益社団法人日本国際生活体験協会**の事業運営により、

2019 年は県立第一高校 3 年生 堤あみさん、専修大学玉名高校 2 年生 永瀬友さんの二名が最終選考を経て選抜されました。)

2020 年 坂口さんへ平田様より奨学金贈呈 平田様には財団より感謝状を送りました。

留学へ出発

《2020 年度募集スケジュール》

2020 年

6 月初旬 県内の高校 50 校に対し募集ポスター送付。

コロナ感染状況から 2021 年派遣は中止



#### (5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

##### ◆事業：情報発信及び広報・普及啓発

【内容】市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】HP メルマガ <https://omoy.jp/>

FB 等 SNS <https://www.facebook.com/kumamotomirai> いいね登録 794 人

##### ◆「第 6 回都道府県・主要都市における NPO との共同作業に関する調査」協力

都道府県。主要都市における NPO との協働環境に関する調査実行委員会

「熊本県」「熊本市」に調査を依頼。

調査スタッフ（小笠原）アルバイト 15 時間

#### **4. 理事会の開催**

年 4 回開催（6 月、10 月、2 月、5 月）

6 月－今年度事業計画・予算状況

10 月－進捗状況

2 月－進捗状況・次年度事業計画

5 月－今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

#### **5. 評議員会開催**

コロナ感染対策のため

・2020 年 7 月郵送による書面決議